

【はじめに】

こんにちは。芸術文化学科の大木泉水です。11 月もあっという間に過ぎてしまいましたがとても充実した毎日を過ごしました。急に気温が低くなり、雨や曇りのどんよりした日が多かったのですが、ボローニャの人々はクリスマスに向けて眩しいくらいのイルミネーションとクリスマスに向けての活気でその寒さをも楽しんでいるように見えます。

【ヴェネツィアとミラノ】

11 月上旬に、ヴェネツィアに行きました。世界的に知られているヴェネツィアビエンナーレで多くの現代アートを 2 日間かけて鑑賞してきました。祝日というのも相まって、会場には多くの人が集まっていますが、どの作品もすんなり鑑賞することができました。「芸術」という枠にはめられた現代アートは、自分の考える物事から逸脱したプロセスとビジュアルを持っていて、常に驚かされていました。解釈は困難でしたが、芸術という枠を超えて自分の生活から世界中の文化まで繋がっていることを実感できました。

また、一人でミラノにも足を運びました。目的はミラノにある日本カルチャーを取り扱うお店を見ることでしたが、その他にもドゥオーモやスカラ座など街中を歩きました。イタリアの中でも最先端の文化とファッションの街であるミラノはとてがかっこいい街でした。ある手作り革靴のお店で買い物をしたのですが、少し私にとっては値段が高めなお店でした。『とても気に入ったけど、私には少し高すぎる』と正直に伝えると、30 ユーロほどディスカウントしてくれました。お店に入った時の試着や値段交渉などの会話は基礎的な文法が並んでいて、よく語学学校で練習していたので、これを実用できたことと、本当にディスカウントしてくれるというイタリアの文化を体験出来てとても嬉しかったです。

【大学】

11 月に入ってから、中世芸術の絵画や彫刻についての授業を 4 つ履修しています。週に 1 回の授業を 15 回受ける日本の大学のシステムとは違って、イタリアの大学では一日 2 時間の授業を週に 3 回受けることとなります。12 月の中旬まで約 6 週間同じ授業を受け、12 月後半か 1 月に口頭でのテストを受けるというのが基本的なシステムです。また、ボローニャ大学は街中に教室を持つ建物が点在しているため、移動が多いのが大変です。私は週に 1 回程度、ピナコテカと呼ばれる絵画館のホールで受ける授業があり、絵画作品に囲まれながら先生の話聞くのが芸術の本場を感じてとても楽しいです。

全ての授業がイタリア語なので全部を理解するのは難しいのですが、11 月の後半になると、聞き取れる単語と、先生が話している作品への解釈はなんとなく理解できるようになってきました。それでもまだ、アウトプットや自分の意見や考えを持つということはとても難しく感じているので、芸術の本場であるイタリアの解釈を見出していきたいです。

【生活】

毎日朝早くから授業があり、キッチンをうまく使えないことなどが重なって、食生活が乱れがちです。イタリアは、やはりパスタとピザがメインで、お米もありますが、品種が違うので日本のお米のようにモチモチホカホカツヤツヤの甘くておいしいご飯は食べられません。野菜もうまく採れず、栄養が偏ってしまっているのですが、少し時間があるときにコルネット（クロワッサン）とカフェ（コーヒー）をバールで飲む時間は至福です。街中ではクリスマスマーケットが出ていて、ホットワインや甘いお菓子などがたくさん並んでいます。イタリアのクリスマスは、1日中美味しい食べ物を食べて過ごすそうです。



⇐ ⇨
Venezia
ビエンナーレ
と街並み



⇐ Duomo di
Milano
絵画館での講義⇩



【12月の目標】

私が履修している授業は12月の中旬まで続きます。授業の終わりと同時に筆記と口頭でのテストがあるので、なんとかそれまで頑張りたいです。それが終わればクリスマス、そして年末年始です。ヨーロッパで過ごすクリスマスと年末年始、どんなふうに過ごせるのか…楽しい予定がたくさんあるのですが、それはまた今度の報告書でお知らせします。Buon Natale e Felice Anno Nuovo！（良いクリスマスと幸せな新年を！）